Owner Instructions

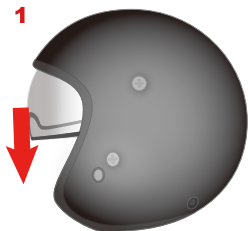
HI-JACK

DIESEL®

Japanese

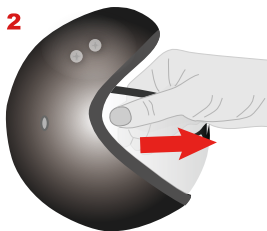
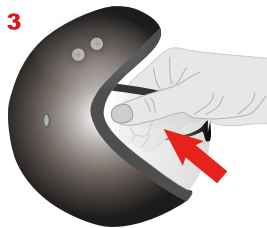
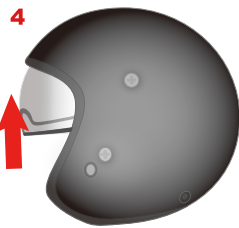
HI-JACK

THIS HELMET'S SHELL IS MADE OF FIBER

THIS HELMET'S LINER IS MADE OF POLYSTIRENE (EPS)

1) シールド

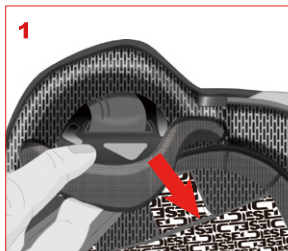
1.1) シールドの取り外し/取り付け

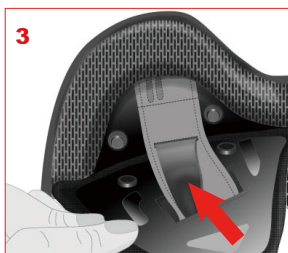
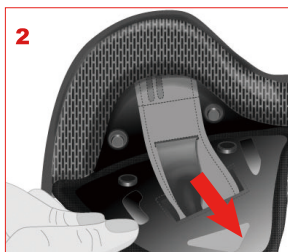
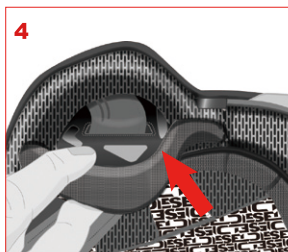
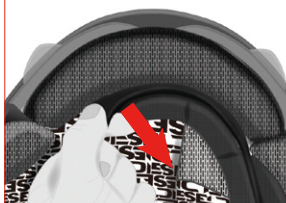
シールドは、傷の付きにくいポリカーボネート製で、可動ﾍﾞｰｽ部品の収容部に連結しております。

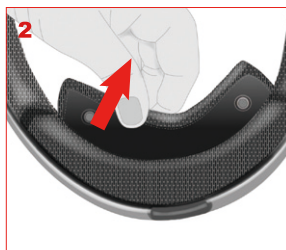
以下の作業は、ヘルメットを平らな場所に置いて行ってください。

シールドを取り外すには、シールドを完全に一番下まで下げてください(図1)。ヘルメットの片側から作業を始めます。矢印の方向にシールドが完全に外れるまで引き抜いて下さい(図2)。もう一方の側についても、同じ作業を繰り返してシールドを取り外します。

シールドを取り付けるには、ヘルメットの片側から作業を始めます。シールドを取り付けるアームの部分を一番下に下げた状態で、シールドの連結部を可動ﾍﾞｰｽ部品の収容部にカチツと差し込みます(図3)。もう一方の側についても、同じ作業を行います。 シールドを上下させて動きが正常かどうか確認して下さい(図4)。

1.2) シールドの使用位置

シールドは完全に下げた位置か上げた位置でご使用ください。シールド下部の黒色の縁ゴムが視界の妨げとなる途中の位置で使用すると危険です。

2) 内装材の着脱

内装本体、左右チークパッドは取り外して洗濯することができます。内装材の着脱は、以下の図をよく見て 指示に従って行ってください。 洗濯方法については、「Safety Warning」パンフレットをお読みください。

2.1) チークパッドの着脱

チークパッドを取り外すには、まずヘルメットのあご紐付近で、チークパッドの前部を握って、矢印の方向に引っ張ると、チークパッド内側の2か所のプレススタッドが外れます(図1)。チークパッドを引き抜いてあご紐から取り外します(図2)。

チークパッドを元に戻すには、チークパッドの穴(図3)にあご紐を通して、所定の位置にプレススタッド2か所をはめて装着して下さい(図4)。チークパッドがヘルメットに完全に固定されているか確認してください。

2.2) 内装本体の着脱

内装本体を取り外すには、ヘルメット前面の２か所のプレススタッド(図1)およびヘルメット後部の2か所のプレススタッド(図2)を外し、取り出します。

注意：内装本体は、プレススタッドをすべて外してから引き抜いてください。完全に外さない状態で引き抜くと、プレススタッドや内装生地が壊れることがあります。

内装本体を元に戻すには、ヘルメット内部に挿入し、ヘルメット後部２か所のプレススタッド(図3)およびヘルメット前面の２か所のプレススタッド(図 4)を所定位置にはめます。

3) リテンションシステム（あご紐）

リテンションシステムは3タイプあります:

- ダブルDリング
- クイックリリース・バックル
- マイクロメトリック・バックル

これら3つのタイプの使用方法を以下に示します。

3.1) ダブルDリング

あご紐を締めるには、2つのDリング(図1)にあご紐を差し込み、図2のように折り返します。顎の下であご紐(図2)の端を矢印の方向に引きあご紐を締めてください。そしてフラップ防止プレススタッド(図3)を所定の位置でカチッと留めます。左図参照。

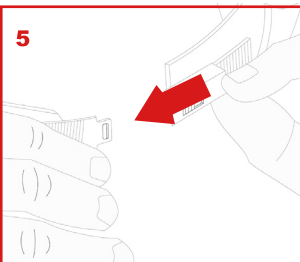
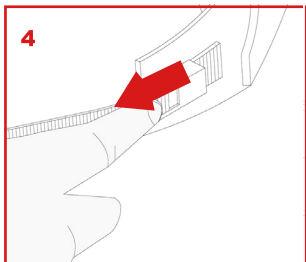
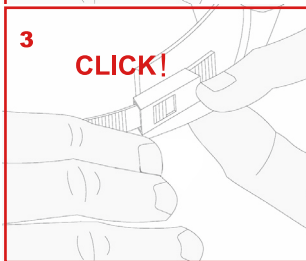
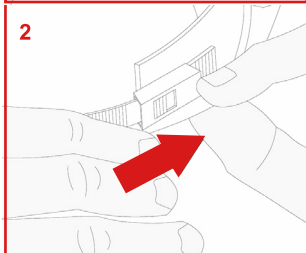
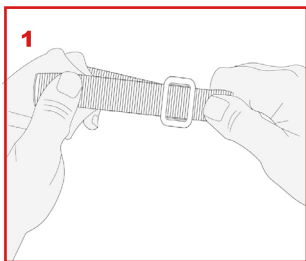
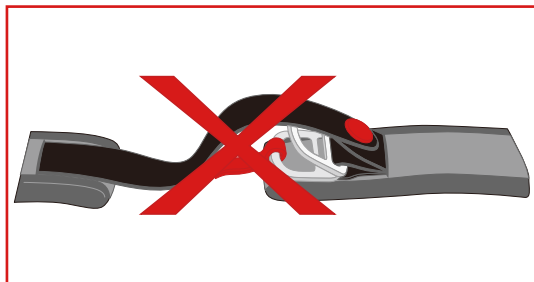
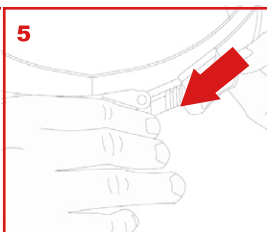
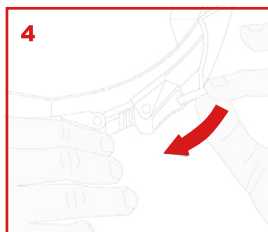
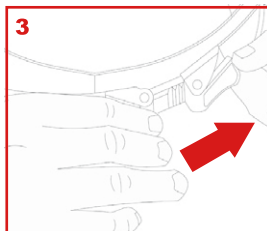
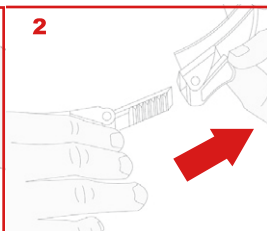
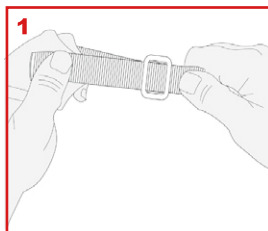
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。

あご紐を取り外すには、プレススタッドを外し赤いリボンを利用してあご紐を緩め、Dリングから外します。左図参照。

3.2) クイックリリース・バックル

クイックリリース・バックルでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

左図に従い､リング(図1)を通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。

あご紐を締めるには、バックルを､リテンション機構(図2)に差し込み、カチッと留めます(図3)。
ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい（小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください）。

あご紐を取り外すには、リボンを用いて赤いレバーを持ち上げ(図4)､次にバックルを外します(図5)。参照。

3.3) マイクロメトリック・バックル

マイクロメトリック・バックルでは、事前にあご紐の長さを調整する必要があります。

左図に従い、リングを通過するあご紐部分を長くしたり短くしたりして(図1)、ヘルメットがしっかり固定されるようになるまであご紐の長さを調節します。

あご紐を締めるには、メタルバックルにセレーションタブを差し込み(図2)、できる限り押し込んで(図3)あご紐が下顎を押しつけるようにします。マイクロメトリック調節によって、セレーションタブ上で好きな番号位置を選択することができるため、より深く、正確に快適さを「キャリブレーション」することが可能です(タブはできるだけ深くバックルに挿入することが最も推奨されます)。ヘルメットがしっかりと固定されていることを確認して下さい(小冊子『Safety Warning』の「正しいヘルメットの選び方」の項を参照してください)。

あご紐を取り外すには、リボンを用いて赤いレバーを持ち上げ(図4)､次にバックルを外します(図5)。参照。

注意： リテンションシステム(あご紐)上に配置されたボタン／ベルクロは、留め具ではなく、余分なあご紐のバタツキを防止する為のものです。 これらを、ストラップを固定するための代用品として使用しないようにしてください。